

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
昭和56年5月18日

第7報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece</i> sp.*	20		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	3660	◎	◎
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	100		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	240		
(珪) <i>Synedra acus</i>	140		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	120		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	300		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	300		○
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	80		
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	640	○	
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	40		
(藍) 藍藻綱	20	0.3	0.3
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	3660	63.5	35.3
(珪) 珪藻綱	940	16.3	26.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	300	5.2	19.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	840	14.6	18.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	5760	総体積	2.66E+06
種 類 数	13	( $\mu\text{m}^3$ )	

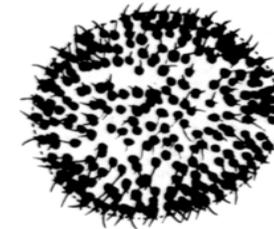
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
黄色鞭毛藻綱	<i>Uroglena americana</i>	3660

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	640

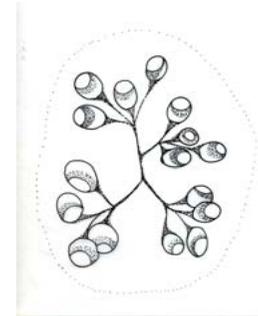
### 植物プランクトン第1優占種



*Uroglena americana*  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻綱

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

### 植物プランクトン第2優占種



*Dictyosphaerium pulchellum*  
(ディクチオスファエリウム プルケルム)  
緑藻綱

4、8、16、32細胞からなる球形ないし卵形の定数群体で、透明な寒天状の基質で包まれている。細胞はほぼ楕円形で、群体の中心から放射状に伸びる寒天質状の紐状体でつながっている。